

令和 4年度 第 2 回 地域密着型運営推進会議録

事業者名 住所	社会福祉法人 砂川福祉会 砂川市西3条南10丁目3番1号	
事業所名 住所 サービス種類	地域密着型特別養護老人ホーム福寿園(サテライト型)・在宅老人デイサービスセンター(地域密着型) 砂川市三砂町55番地6号 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護・地域密着型通所介護	
開催日時 開催場所	令和 4年 6月15日 在宅老人デイサービスセンター	
出席者内訳	事業者:	小澤 敏博(施設長) 梶 信子(主任生活相談員)
		北谷 将文(相談支援係長) 古舘 輝一(相談支援主任)
	利用者・家族:	2名
	地域代表:	1名(三砂町内会 会長)
	市・包括職員:	1名(砂川市役所 高齢者支援係職員)
	見識者・その他:	0名
議題・課題	1、地域密着型利用状況報告 2、施設活動報告 3、その他のご意見・ご要望等について ・自衛防災訓練実施計画について	
報告事項	1、地域密着型利用状況報告(別紙参照) 2、施設活動報告(別紙参照) 3、自衛防災訓練実施計画について(別紙参照)	
評価(感想等)		
要望、意見及び助言等	地域包括支援センター:リスク委員会の構成メンバー、人数を教えてください。 事業者:委員会参加人数は21名。各ユニット、地域密着型の介護職員、介護係長、看護師、ケアマネ、施設長などが主な構成メンバーとなっています。 利用者・家族:自衛防災訓練は、一般の方も見学に来てもよろしいのでしょうか? 事業者:ぜひ参加、見学して行ってください。	
	自衛防災訓練実施計画について 施設長:今回の防災訓練については、新たな取り組みとして地域の住民の方々と協力しての訓練を計画しています。三砂町内会の方々には是非ご参加をお願いいたします。	
その他必要な事項		

令和4年度 第 2 回地域密着型運営推進会議 進行次第

開催日 令和 4年 6月15日(水)
時 間 17:30~18:00
場 所 在宅老人デイサービスセンター

1. 開会

2. 議事

- (1) 地域密着型利用状況報告について
 - ・別紙資料参照
- (2) 施設活動報告
- (3) その他のご意見・ご要望等について
 - ・自衛防災訓練実施計画について

地域密着型特別養護老人ホーム要介護度別入所者数

R4年4月

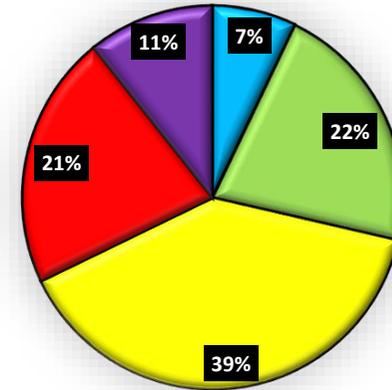
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
砂川市	2	6	11	6	3	28

平均介護度 3.07

入所 0名

退所 0名

要介護度入所者数 4月



■要介護1 ■要介護2 ■要介護3 ■要介護4 ■要介護5

R4年5月

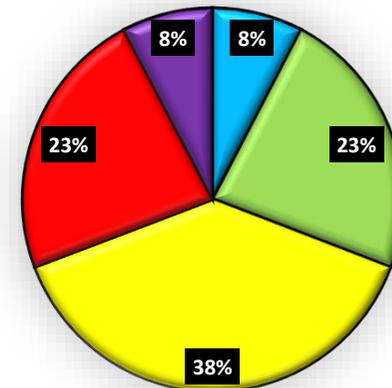
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
砂川市	2	6	10	6	2	26

平均介護度 3.00

入所 0名

退所 2名

要介護度入所者数 5月

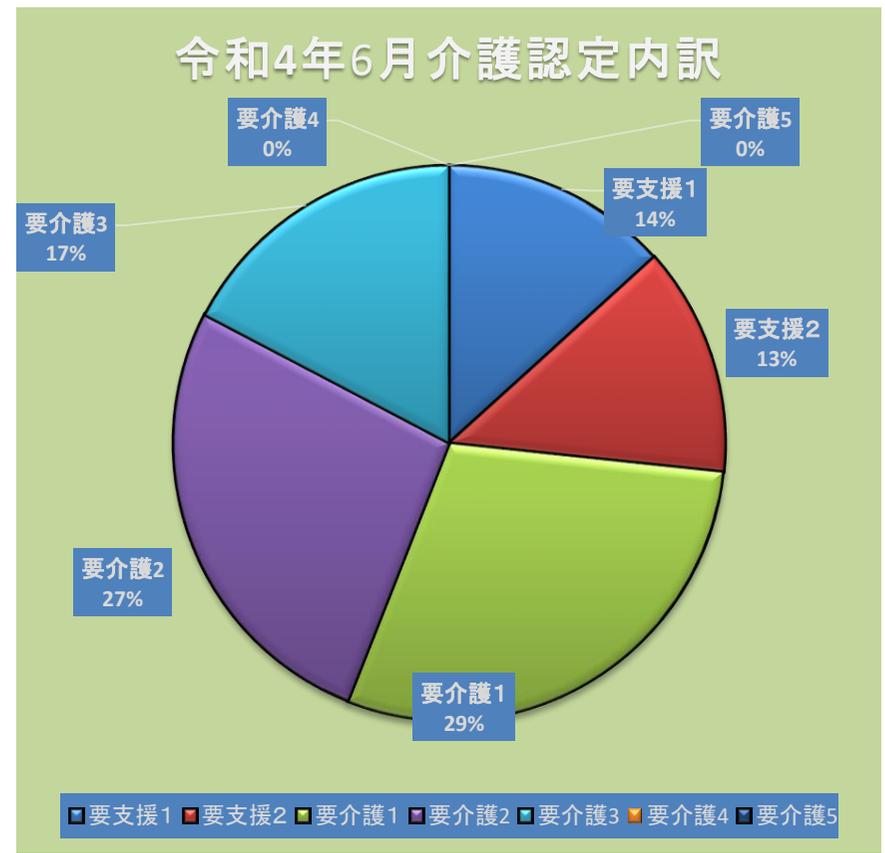


■要介護1 ■要介護2 ■要介護3 ■要介護4 ■要介護5

6月時点の地域密着型入居者待機人数は、53名
 男性:14名
 女性:39名

令和 4年5月～6月 デイサービス 曜日別登録者数

		月		火		水		木		金		総計
		男性	女性									
5月	介護認定	4	15	4	9	3	12	5	12	4	12	80
	(介護)1日現在曜日別利用者数	19		13		15		17		16		
	身障			1						1		
6月	介護認定	5	14	2	9	3	12	3	11	4	12	75
	(介護)1日現在曜日別利用者数	19		11		15		14		16		
	身障			1						1		
	介護認定											0
	(介護)1日現在曜日別利用者数	0		0		0		0		0		
	身障											
	介護認定											0
	(介護)1日現在曜日別利用者数	0		0		0		0		0		
	身障											
6月介護認定内訳	要支援1		2		2		0		3		3	10
	要支援2		4		0		2		3		1	10
	要介護1		5		4		6		3		4	22
	要介護2		2		5		5		3		5	20
	要介護3		6		0		2		2		3	13
	要介護4		0		0		0		0		0	0
	要介護5		0		0		0		0		0	0
	計		19		11		15		14		16	75



- 4月
- 男性Aさん 遠方の施設入所のため利用終了
 - 男性Bさん 新規利用開始
 - 女性Cさん 死去のため利用終了
 - 男性Dさん 新規利用開始
 - 女性Eさん 自費利用終了(転居のため)
 - 女性Fさん 半年間利用休止(家庭菜園のため)

- 5月
- 男性Aさん 長期入院のため利用終了
 - 女性Bさん 施設入所のため利用終了

※曜日変更の方や週に複数回利用の方もいるため、利用開始、終了の人数と総計は合致しない場合があります。

令和4年度第2回
地域密着型介護老人福祉施設
運営推進会議

1. 施設活動報告
(各種委員会紹介)

報告内容

- ・各種委員会紹介

身体拘束廃止推進・リスクマネジメント委員会編

身体拘束廃止推進・ リスクマネジメント委員会とは

身体拘束廃止推進・リスクマネジメント委員会（以下「リスク委員会」という。）は、介護保険施設においては、身体拘束が原則禁止されており、施設内で起きる事故を身体拘束で防止策とし安易に正当化することなく、高齢者の立場になって、その人権を保障しつつケアを行うことを目標に活動しています。また、リスクマネジメントは施設の利用者である高齢者は、様々な機能の衰えにより、普段の生活環境の中でも思わぬ事故に遭う確率が高くなります。その事故のリスクを洗い出し事故を未然に防ぐ活動をしています。

身体拘束廃止推進・ リスクマネジメント委員会の主な活動

- 身体拘束廃止マニュアルの作成・見直し
- クリップコール・センサーマットの管理の確認(使用の検証と要否の判断)
- 離園者リスト状態確認 ☆
- ヒヤリ・ハットの情報共有及び検討 ☆
- 事故統計の分析と注意喚起・指導事項の作成
- 事故事例検討(考えられる原因・今後の対応策) ☆
- ハラスメント対応の取り組み
- 各種虐待についての研修の実施

離園者リスト 状態確認①

離園者リストとは、施設入所後に認知症の症状の一種である帰宅願望や夕暮れ症候群で施設から出ようとしてしまう利用者の対応方法やもし施設から離園してしまった時の、本人情報が記載されているリストになっています。

・リストには、平日、休日、夜間用の離園時の対応がフローチャート図で記載されており、発生時はそれに従って対応します。フローチャート内には、まずは施設周囲を捜索しそれでも発見できなかった場合は、警察署に連絡し、中空知高齢者SOSネットワークを使用し、各協力機関(市・町、消防機関、交通機関等)に情報提供を要請する流れとなっています。



離園者リスト 状態確認②

本人情報は、全体写真、顔写真、氏名、生年月日、身長、体重、特徴が記載されています。

無断離園の可能性が高い対象者

R×.×.×作成



氏名	生年月日	階	入居場所
〇〇 × ×	〇年×月△日	1	地域密着型 福寿園
特 徴			
身長	〇〇.〇cm程度	体重	× × . × kg程度
アルツハイマー型認知症。施設内でも迷う事がある。夕暮れになると帰る時間を気にして不安になり、荷物をまとめて帰る用意をする。 温厚な性格で会話は成立するが、同じ内容を繰り返し話される。持ち手が曲がった杖を持っている。金色の結婚指輪をしている。腰が曲がった歩き方をしている。			

ヒヤリ・ハットの 情報共有及び検討

ヒヤリハットとは、重大な災害や事故に直結する一歩手前の出来事のことを指します。

思いがけない出来事に「ヒヤリ」としたり、事故直前のミスに「ハッ」としたりすることが名前の由来です。

施設内で確認されたヒヤリハットを委員会で集約し、施設全体で共有することで、大きな事故を予防する取り組みを行っています。今回は集約されたヒヤリハットの一部を報告します。

- ・〇年4月△日 23:40 ○○○○氏 居室
訪室するとL字柵に掴まって、ベッドからずり落ちそうになっている所を発見する。
- ・〇年9月△日 2:00 ○○○○氏 居室
物音あり訪室するとベッドからずり落ちそうになられている所を発見。



委員会で状況や行動原因などを集約、助言を提供し現場で検討してもらう。



- ・現場の解決策として、夜間の排泄で起きるが、この方は起立性低血圧と言う既往があり、寝起きに血圧が下がりふら付いたり、意識が遠のく症状が原因であることがわかった。そのため、定時に声掛けをして排泄を促すように対応することで、事故を予防することとした。

事故事例検討 (考えられる原因・ 今後の対応策)①

事故事例検討は、施設内で発生した事故を委員会で検討し、考えられる原因の精査。対応策の検証と妥当性を協議し適切な助言を行うよう努めています。またその対応策の中で身体抑制に繋がる事柄や虐待に繋がる恐れがある事柄を見つけ予防することにも努めています。

- ①事故報告書を提出
- ②考えられる原因や対応策に不十分が感じられた場合は、委員会に持ち込む。
- ③委員会内で事故発生状況の再情報収集を行う。
- ④収集した情報から不十分な部分を指摘、修正。場合によっては助言を与えて現場に持ち帰ってもらい、再検討。



再検討！

事故事例検討 (考えられる原因・ 今後の対応策)②

実際にあった事故の報告書(一部抜粋修正済み)と委員会からの指摘内容がこちらとなっています。

事故(発見)報告書							
地相談支援主任	リスクマネージメント 委員	リーダー	介護主任	介護係長	相談支援係長	看護師長	施設長
地域密着型	利用者氏名	〇〇 ××	(男・女)	95歳			
発生日時	令和 3年	〇月	〇日	〇時	×分	(〇曜日)	<input type="checkbox"/> 7:30~16:29 <input type="checkbox"/> 16:30~22:29 <input type="checkbox"/> 22:30~7:29
事故の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒・転落 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> 内服忘れ・発見 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> その他 ()						
事故発生状況と経過	(確認をした事実から、治療連絡などの対応まで記載する) ※発生場所や身体状態等をわかりやすく記載すること。 介護員がゴミ集めを終えてからリビングへ戻ると、車椅子のフットレストに座っている状態の本人を発見する。外傷確認し、痛み、変色等は見られない。						
受診の有無	有・無 診療科名 ()						
医療処置内容	全身 委員会からの指摘:考えられる原因の記載が不十分でわかりづらい。現場職員にもう一度聴き取りを行った結果は下記の通りとなる。 ※ゴミ集め前に座位姿勢を直してから作業にはいるが、作業中は本人の姿勢を確認していなかった。事が原因と考える。						
考えられる原因	ゴミ集めに一度、座り直して頂き、常務に入るもその間、本人の状態を確認していなかったことが原因と考える。						
今後の対応策	動静観察を行い、本人状態や体勢に応じ座り直して頂いたり、見守りを徹底することで再発防止に努める。						
家族への連絡	<input type="checkbox"/> 連絡あり <input type="checkbox"/> 連絡無し ・連絡した日時 : 令和 年 月 日(曜日) 時 分 ・連絡した家族氏名 : 様(続柄:) 連絡者氏名						
家族の反応							
提出者: 職種	氏名	提出日: 令和 年 月 日					

まとめ

今回は、当園での身体拘束廃止推進・リスクマネジメント委員会の活動内容の一部を紹介させていただきました。

また、今回紹介できなかった。施設内での虐待に繋がる行動の予防にも取り組んでいます。事故は100%防ぐことは不可能ですが、事故発生を0%に近づけることは予防と工夫で可能です。今後もリスク委員会はその努力を日々行っています。

ご清聴ありがとうございました。
